

# CHieru

チエル株式会社

( 証券コード 3933 )

## 2017年3月期 第2四半期 決算説明資料

2016年11月

Chapter **01** 会社概要 . . . P.03

---

Chapter **02** 市場環境と事業概要 . . . P.07

---

Chapter **03** 2017年3月期 第2四半期業績報告 . . . P.23

---

Chapter **04** 成長に向けた2017年3月期の取り組み . . . P.31

---

Chapter **05** 2017年3月期の業績予想 . . . P.49

---

添付資料 . . . P.51

---

# Chapter 01 会社概要

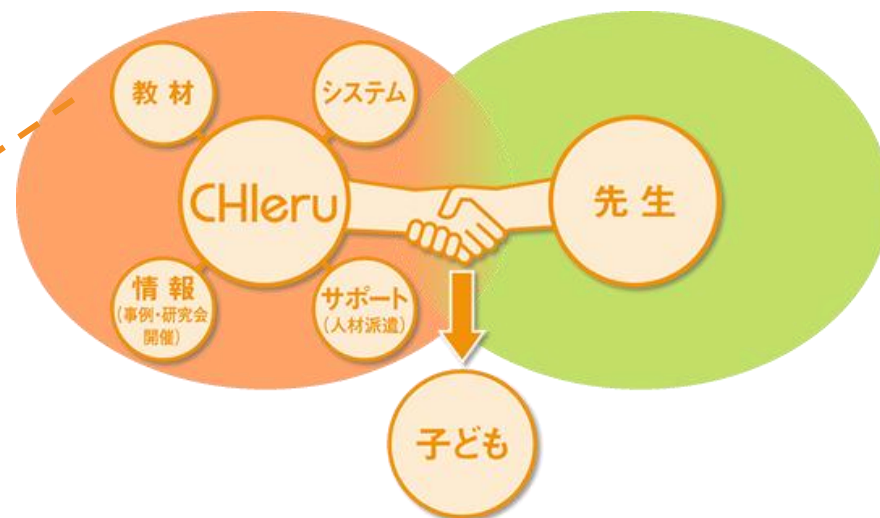
会社名	チエル株式会社
代表者	川居 睦
住所	東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー3F
設立	1997年10月1日
資本金	3.15億円
従業員	連結：67名（単体：61名）
拠点	<p>営業拠点：6 営業所 （札幌・仙台・首都圏・名古屋・大阪・福岡）</p> <p>開発拠点：本社</p> <p>子会社：沖縄チエル株式会社（2016年7月設立）</p>
業績	売上高 <b>17.27億円</b> / 経常利益 <b>1.85億円</b> （2016年3月期）
事業内容	<p>学校教育ICT事業（学校教育市場に特化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育用ソフトウェア、ネットワークおよびシステムの企画・研究開発、コンサルティング、操作要員・技術要員等の指導者育成</li> <li>• 情報通信サービス及び情報提供サービスに関する業務</li> <li>• 情報処理機器、電気通信機械器具、事務用機械の製造及び販売</li> <li>• 教材、教育機器、文房具の企画、開発及び販売</li> <li>• 図書、書籍、雑誌の企画、制作、出版及び販売</li> <li>• 労働者派遣業務</li> </ul>

**経営理念** 『教育』と『ICT』をつなぐイノベーターとして貢献する

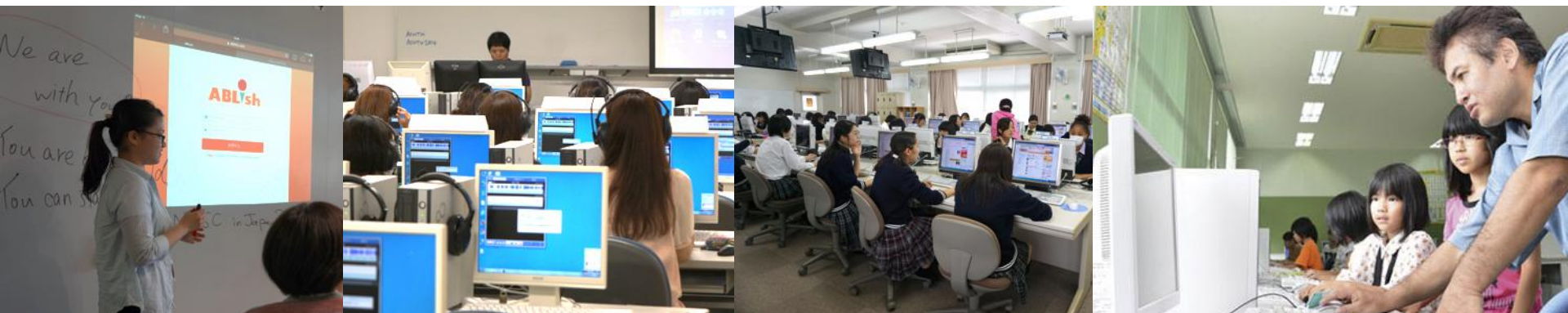
**ドメイン** 世界中のICTを活用している**学校の教育現場**

教育におけるICTの利活用シーン

	事務	現場
<b>学校</b>	校務	<b>学校教育 (教務)</b>
通信教育 学習塾	総務・経理	通信教育 学習塾 での教育
社会人教育 企業	総務・経理	研修



## 1997年の創業より一貫して学校教育ICT市場に特化し成長



**2016年3月** 東京証券取引所ジャスダックに株式を上場

2015年6月 教育教材ナビゲーション・システム特許登録（特許第5760274号）

2015年3月 高校・大学教育向けタブレット対応授業支援システム『CaLabo TX』販売開始

2014年4月 小中学校教育向けタブレット対応教務支援システム『らくらく先生スイート』販売開始

2009年7月 高校・大学教育向けPC教室授業支援システム『CaLabo LX』販売開始

2008年2月 高校・大学教育向けのフルデジタルCALLシステム『CaLabo EX Ver.5.0』販売開始

**2006年10月** アルプスシステムインテグレーション株式会社の教育事業部門を統合・社名をチエル株式会社に変更

2004年4月 学校向けに特化したクラウド型教材配信サービス『CHleru.net』の提供を開始

**1997年10月** 株式会社旺文社の100%子会社として株式会社デジタルインスティテュート設立

Chapter **02**

# 市場環境と事業概要

# 第2期 教育振興基本計画

平成25年  
6月14日  
閣議決定

第2期の「教育振興基本計画」が策定されました。(計画期間:平成25年度～29年度)  
「教育振興基本計画」は、教育基本法に基づき政府が策定する教育に関する総合計画です。



4つの基本的方向性

8つの成果目標

30の基本施策



成果目標

1

幼稚園～高校 **生きる力の確実な養成**

&lt;成果指標例&gt;

- 国際的な学力調査で世界トップレベルに

&lt;取組の例&gt;

- 新学習指導要領を踏まえた**言語活動の充実**
- ICTの活用などによる**協働型・双方向型学習の推進**

成果目標

2

大学～ **課題探求能力の修得**

&lt;成果指標例&gt;

- 学生の**学修時間の増加**（欧米並みの水準）

&lt;取組の例&gt;

- 教育サポートスタッフ充実や**図書館の機能強化**、**アクティブ・ラーニング**の充実など大学の学修環境整備
- 高校生の到達度テストの結果活用などを含めた、**入試の抜本的改革**

成果目標

5

新たな価値を創造する人材、  
グローバル人材等の養成

<成果指標例>

- 英語力の目標(※)を達成した中高生の割合**50%**
- 英語教員に求められる英語力(※)を達成した英語教員の割合増加（中学校**50%**、高校**75%**）
- 「留学生**30万人計画**」の実現

<取組の例>

- **小学校における英語教育の教科化**等の検討
- 徹底した国際化に取り組む
- **大学への重点支援**

(※) 英語力の目標

中学校卒業段階：	英検 3 級程度以上
高等学校卒業程度：	英検準 2 級程度 ～ 2 級程度以上
大 学：	TOEFLiBT80点
英 語 教 員：	英検準1級 TOEFLiBT80点、 TOEIC730点程度以上

成果目標

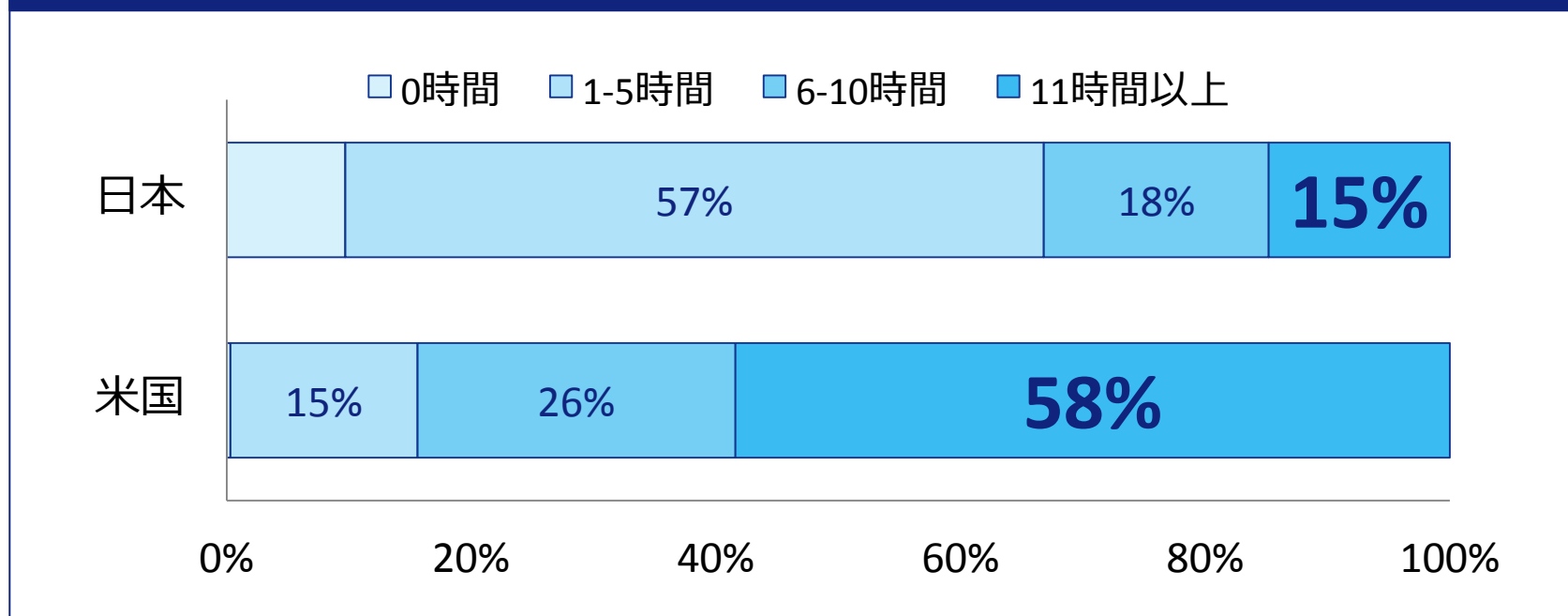
2

＜成果指標例＞ 「学生の学修時間の増加」 背景

学修時間・学習意欲は諸外国に比較し低い水準

⇒ **学修時間の増加**が望まれる

授業に関連する1週間当たりの学修時間の日米比較（大学一年生）



出所：東京大学大学経営政策研究センター（CRUMP）『全国大学生調査』2007年

成果目標

2

＜取組＞ 「入試の抜本的改革」 - 高大接続システム改革

## 高大接続 システム改革

### 大学教育改革

- ・「学位授与方針」「教育課程編成方針」「入学者受入方針」の一体的な策定
- ・アクティブ・ラーニングへの質的転換

### 高等学校教育改革

- ・学習指導要領見直しと  
アクティブ・ラーニングの充実
- ・高等学校基礎学力テスト導入

### 大学入学者選抜改革

- ・各大学の個別選抜の強化と多面化
- ・大学入学希望者学力評価テスト導入

- 「思考力・判断力・表現力」を問う問題を重視  
⇒ 生徒の「能動的な学習」をより重視した授業への改善
- 英語の「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能重視  
⇒ 民間資格・検定試験（英検・TOEFL等）の活用

## 成果目標

## 2

## ＜取組＞ 「大学の学修環境整備」

- 「**アクティブ・ラーニング**」とは、教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。
- 「**ラーニング・コモンズ**」とは、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」。



アクティブ・ラーニング教室



ラーニング・コモンズ



自宅・移動中

主体的な学びを支える為のシステムやプラットフォームが求められている

成果目標

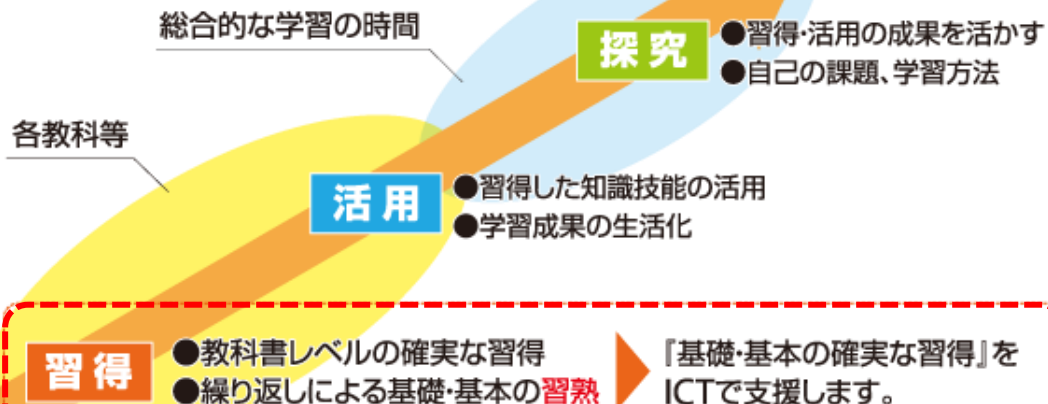
2

＜取組＞ 「新学習指導要領を踏まえた言語活動の充実」

- デジタル教科書を2020年に導入
- 英語が教科化されることで、デジタル教材の拡大が期待される

デジタル教材の活用により  
**基礎・基本の確実な習得**  
を支援

英語の教科化にあたり、  
**ネイティブな発音に  
触れさせるなど**  
デジタル教材に期待

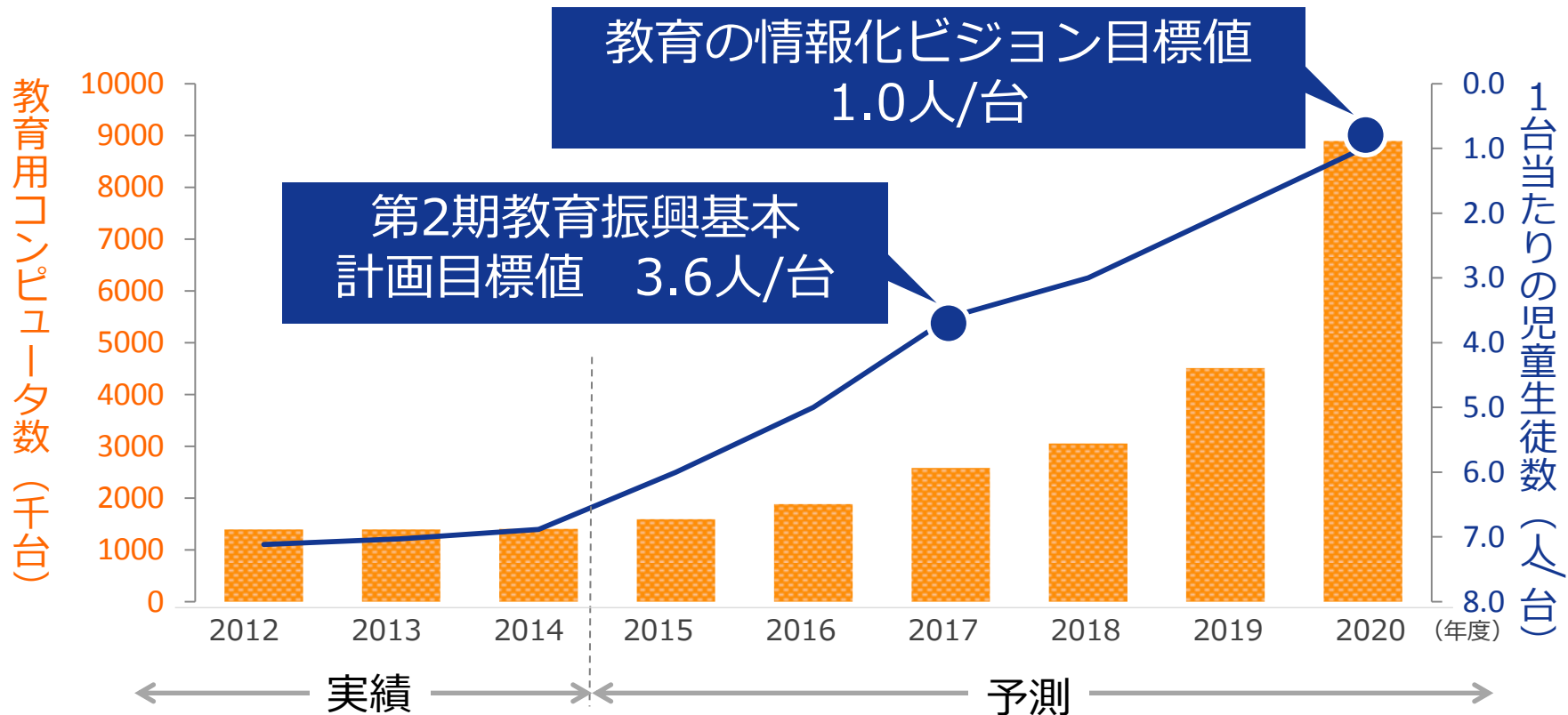


成果目標

2

＜取組＞ 「ICT活用による協働型・双方向型学修の推進」

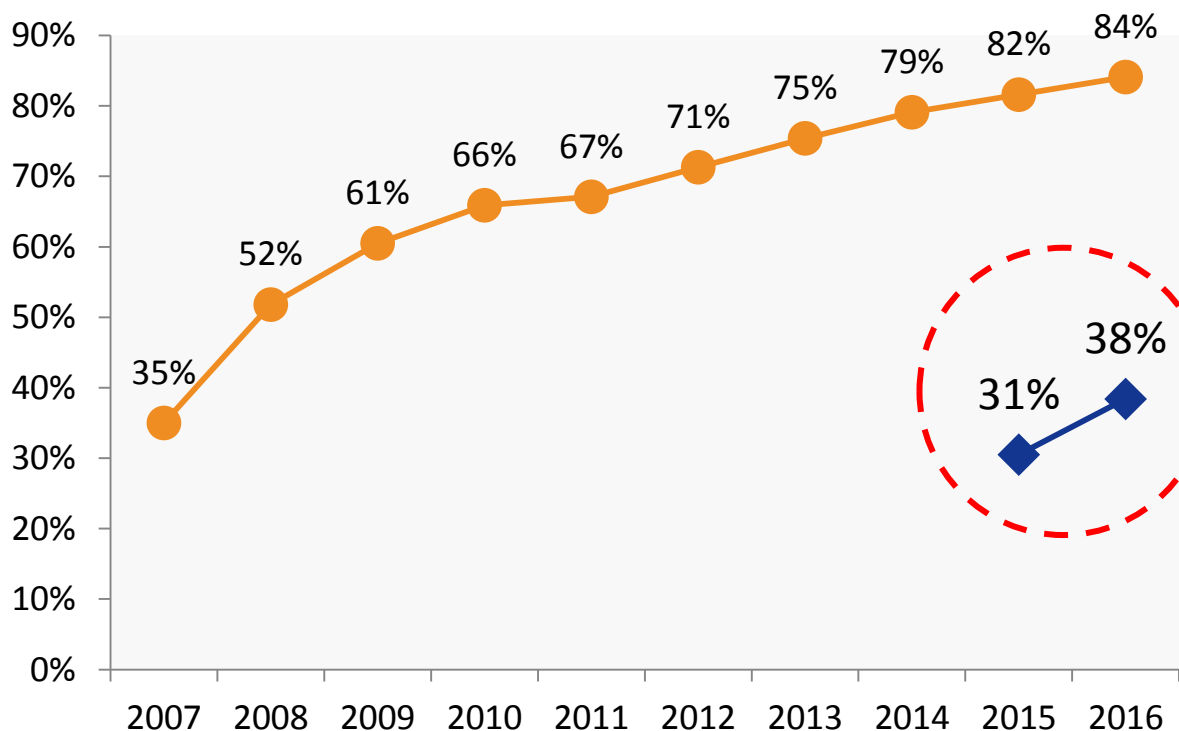
- 子ども1人に対し1台の情報端末を提供するため、タブレットの整備を推進



\*出所：学校における教育の情報化の実態等に関する調査等をもとに日本総合研究所作成（小学生及び中学生）

## 総務省は教育クラウド、無線LANや100Mbps以上の超高速インターネット導入を推進

### 高速インターネット接続率の比較



### ICT環境整備 無線LAN整備

100Mbps以上の  
超高速インターネット  
の普及はまだ  
**低い水準**

● 高速インターネット接続率（30Mbps以上）

◆ 超高速インターネット接続率（100Mbps以上）

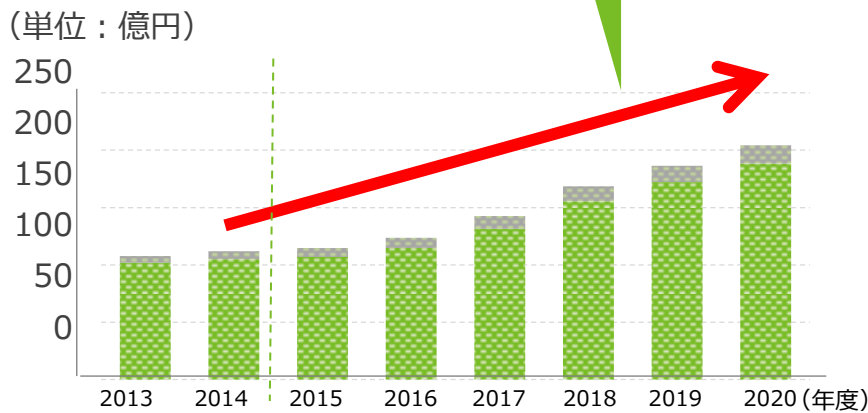
出所：平成27年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果



高校大学市場・小学校中学校市場ともに、政府は積極的な予算措置が講じられ、学校教育ICT市場は拡大の見込み

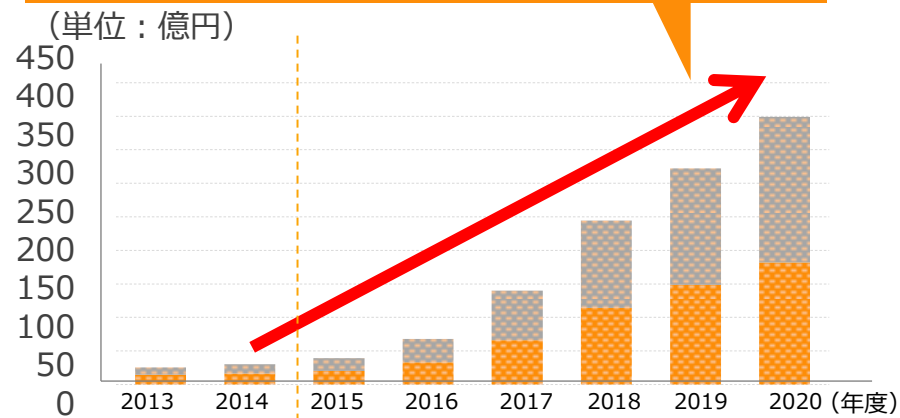
高校大学市場規模予測\*

2014-2020年 年平均成長率 約 **11%**



小学校中学校市場規模予測\*

2014-2020年 年平均成長率 約 **54%**



← 実績 → 予測 →  
 ■ デジタル教材 ■ 講義支援・運用管理システム

← 実績 → 予測 →  
 ■ デジタル教材 ■ 授業支援システム

\* 出所：エデュケーションマーケット2015 富士キメラ総研 \* 当社が特化するソフトウェアのみ

代 表 的 な 予 算	私学助成関係	4,303億円
	国立大学改革の推進	1兆945億円
	高大接続改革の推進	50億円
	教育のIT化に向けた環境整備4か年計画	6,712億円 (4か年)
	義務教育諸学校における新たな教材整備計画	800億円 (単年度)

高校大学市場は3分野、小学校中学校市場は2分野の製品を展開

## 高校大学市場

### 教材提供クラウドサービス分野



クラウド型教材配信サービス



連携

### 講義支援分野



CALLシステム  
授業支援システム  
授業支援プラットフォーム

認証  
連携



### 運用管理 システム分野



ICT運用支援システム  
統合ID管理システム

## 小学校中学校市場

### 教材提供分野



デジタル教材



連携

### 授業支援分野



教務支援システム

PCやタブレットを利用する講義における双方向のやりとりを支援し、特に語学学習において強みを発揮

講義支援分野製品の概要



先生

画面・音声モニタリング

画面共有

小テスト実施

小テスト回答

プログラム一斉起動、  
URL一斉起動、PC制御

課題ファイル一斉配布



グループ会話  
グループワーク

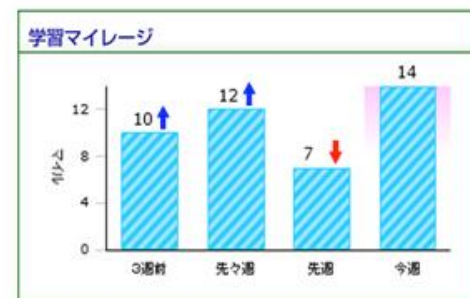


学生

## CHleru.netの概要



- 「CHleru.net」では幅広い教材を提供しており、会員数は延べ**300万人超**
- 学生はいつでも学習が可能であり、先生は学習履歴管理機能で進捗管理可能



学習履歴管理機能で学習状況を確認

- PCやタブレットを利用する授業における双方向のやりとりを支援
- 教材準備・学習活動の記録・指導計画の作成が可能



- タブレットや電子黒板に対応したデジタル教材を提供
- 一斉学習・個別学習・協働学習に対応

## タブレット対応教材の概要

### 教師用提示教材

インタラクティブ型教材シリーズ	
<p>小学校の <b>動かして教える</b> 算数</p>	<p>先生がプロジェクターや電子黒板に映して、動かしながら教える教材</p>
フラッシュ型教材シリーズ	一斉提示型教材シリーズ
<p>フラッシュ英単語 名詞編</p>	<p>小学校の <b>見せて教える</b> 社会</p> <p>小学校の <b>見せて教える</b> 理科 観察・実験</p>
<p>全員で一斉に繰り返して、基礎・基本を習得する教材</p>	<p>板書に時間のかかる図表などの提示が簡単にできる教材</p>

### 児童・生徒用教材

個別学習型教材シリーズ	
<p>小学校の <b>じぶん で</b> 算数</p>	<p>小学校の <b>チャレンジ</b> ミニドリル</p>
<p>児童生徒が個別に楽しく繰り返しながら、基礎・基本を習得する教材</p>	
協働学習型教材シリーズ	
<p>小学校の <b>いっしょに</b> 算数</p>	<p>児童生徒がグループで取り組んで、基礎・基本を習得する教材</p>

Chapter **03**

2017年3月期 第2四半期 業績報告

- ・売上は期初予想に対し**+7.5%**の860百万円
- ・純利益は同**+57.8%**の56百万円

(単位：百万円)	2017年3月期 第2四半期(累計)		増減	
	期初予想	実績	額	率
売上高	800	860	+60	+7.5%
営業利益	53	67	+14	+26.9%
経常利益	53	82	+29	+56.2%
四半期純利益	36	56	+20	+57.8%

### 高校大学市場

- ・ 講義支援分野、教材提供クラウドサービス分野が堅調に推移
- ・ 首都圏の高校を中心として受注が好調

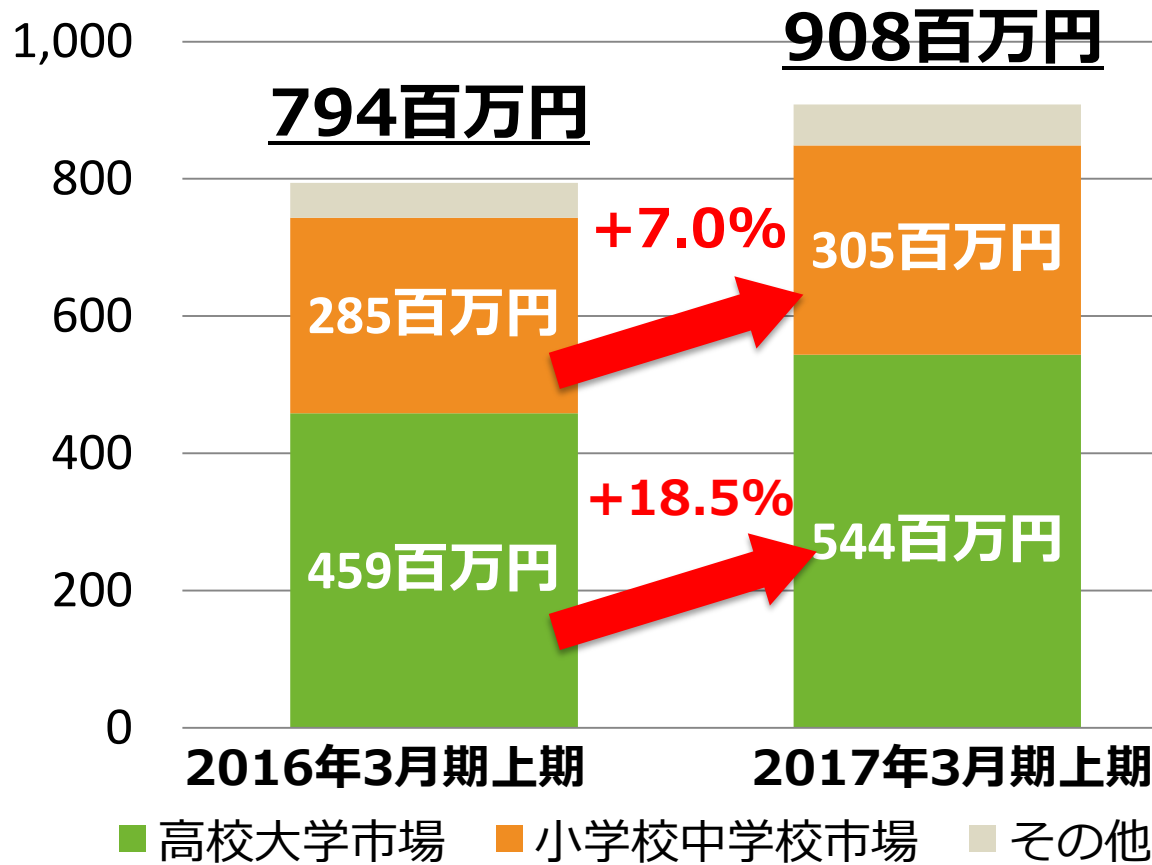
### 小学校中学校市場

- ・ 授業支援分野が堅調に推移
- ・ 北海道においてセキュリティアプリケーションサーバーの大口受注



上期の市場別受注額は、前年同期比で、高校大学市場が**+18.5%**、小学校中学校市場が**+7.0%**と、ともに増加

## 受注高 (百万円)



- ・ 授業支援分野 +9%  
( Tbridge +267%  
ExtraConsole +77% )
- ・ 北海道におけるeNetStar受注

- ・ 講義支援分野 +9%
- ・ 教材クラウドサービス分野 +7%
- ・ 運用管理システム分野 +10%
- ( CHIeru.net + 9%  
ExtraConsole + 16%  
Tbridge +452% )
- ・ 沖縄県における受注増加

- 大学高校市場の導入率は、大学が5割超、高校が2割7分
- 今後拡大する小学校中学校市場においても、導入率は3割

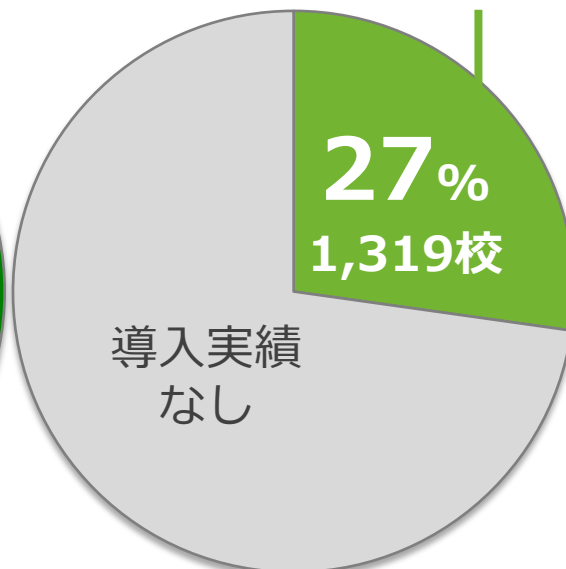
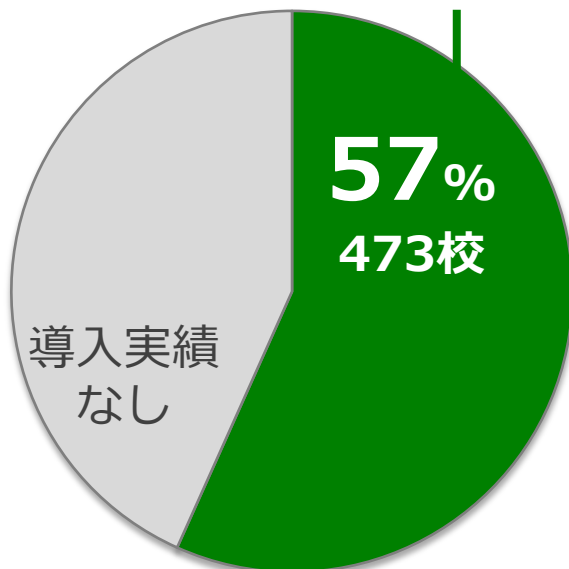
## 大学高校市場\*\*における導入実績\*

大学 : 834校

高校 : 4,845校

導入実績あり

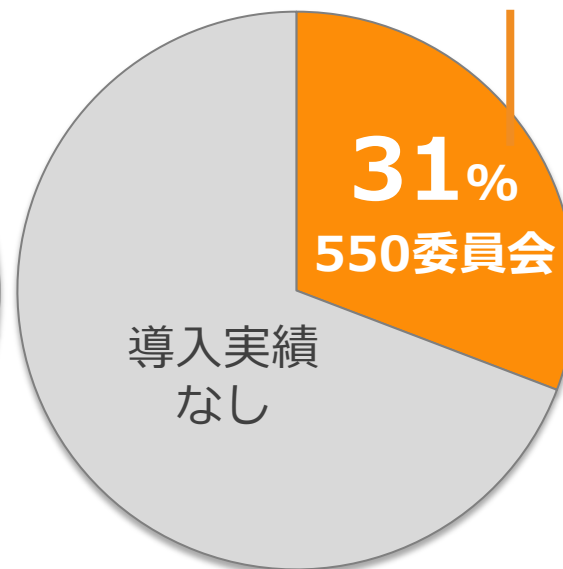
導入実績あり



## 小学校中学校市場における導入実績\*

小中 : 1,786 委員会

導入実績あり

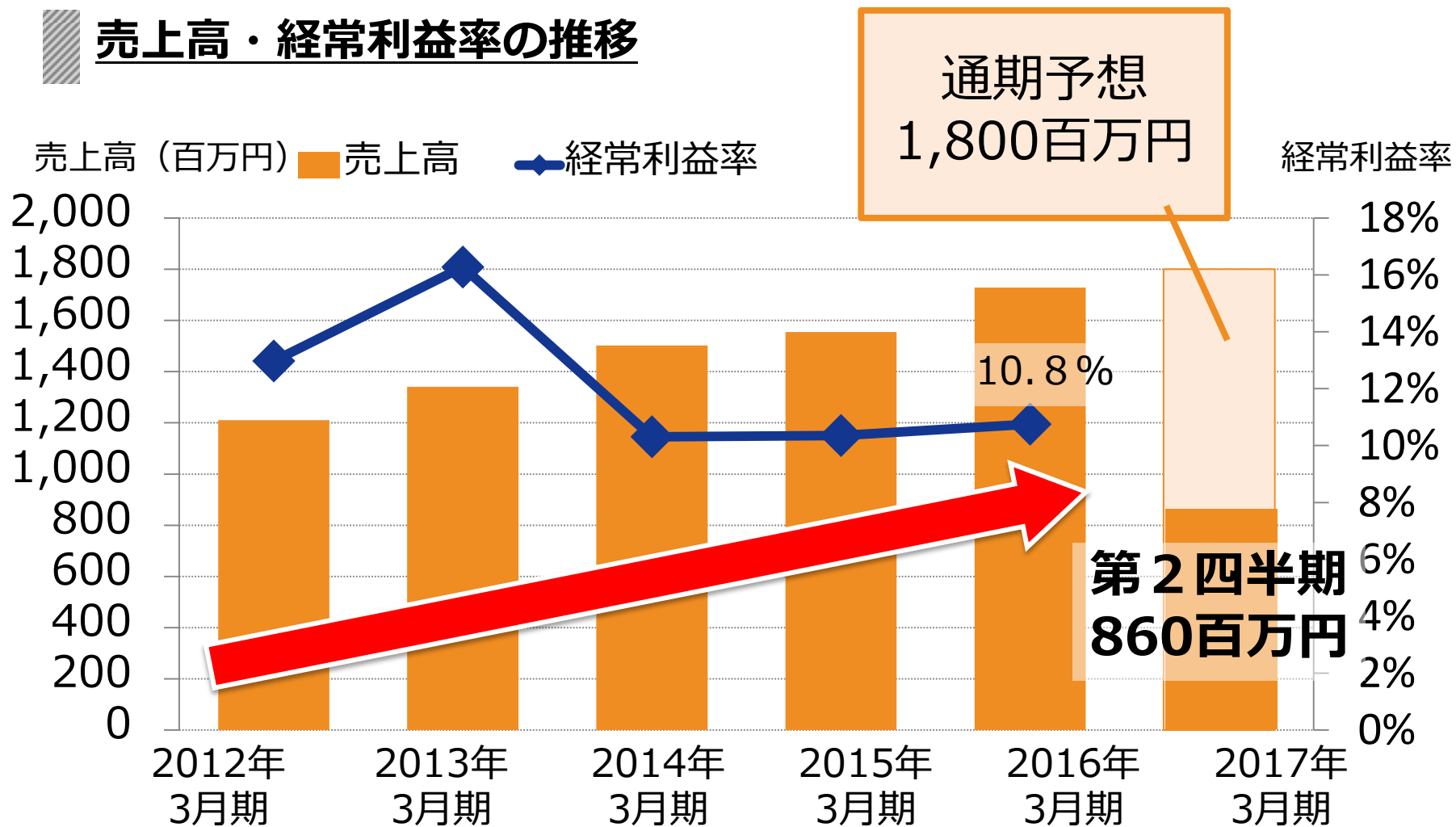


\* 実績数は、2006年から2016年9月までに取引実績のある学校・教育委員会（小中市場の場合）を対象として集計

\*\*大学市場は、大学および高等専門学校における導入実績

- ・ 過去5期、毎年売上が拡大
- ・ 経常利益率は**10%以上**で推移

## 売上高・経常利益率の推移



# 2017年3月期 第2四半期 貸借対照表

(単位：百万円)	2016年3月期	構成比	2017年3月期 第2四半期	構成比	増減	
					額	率
流動資産	1,785	86.4%	1,753	80.9%	△31	△1.8%
固定資産	282	13.6%	414	19.1%	+132	+47.0%
<b>資産合計</b>	<b>2,067</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,167</b>	<b>100.0%</b>	<b>+100</b>	<b>+4.9%</b>
流動負債	860	41.6%	881	40.7%	+21	+2.5%
固定負債	57	2.8%	62	2.9%	+4	+8.0%
負債合計	918	44.4%	944	43.6%	+25	+2.8%
純資産	1,148	55.6%	1,223	56.4%	+74	+6.5%
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,067</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,167</b>	<b>100.0%</b>	<b>+100</b>	<b>+4.9%</b>

**資産** 現金及び預金が520百万円増加、売掛金が213百万円減少  
無形固定資産が52百万円増加

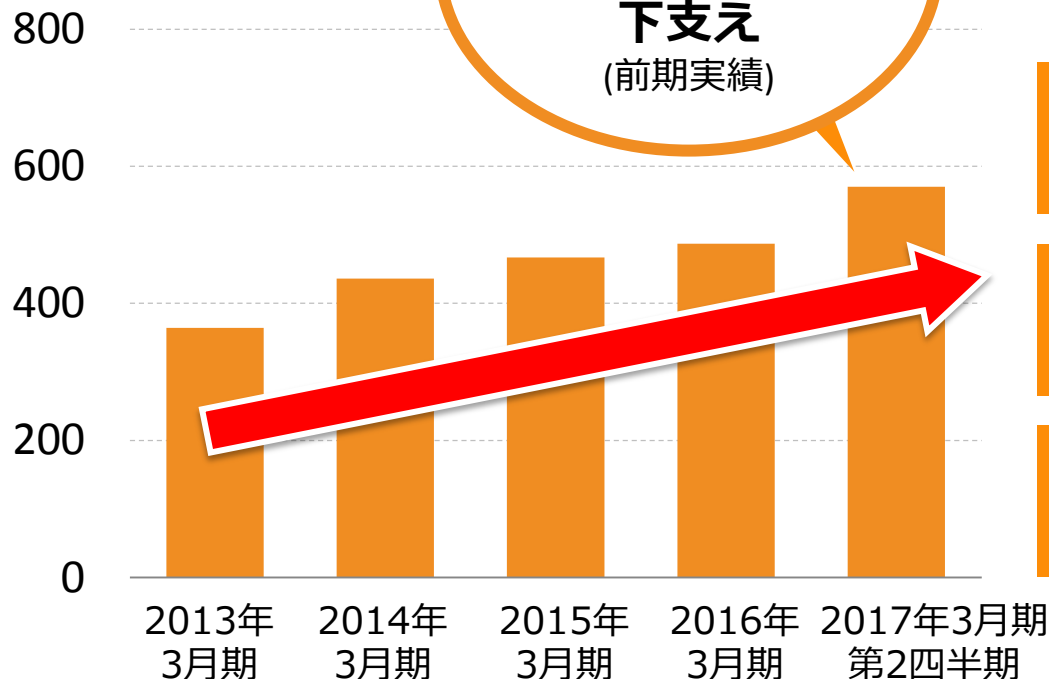
**負債** 前受金が82百万円増加  
買掛金・未払金が56百万円減少

**純資産** 資本金・資本準備金が18百万円増加、**四半期純利益56百万円計上**

- ・教材や保守など複数年契約（期間契約）の受注により**前受金**が拡大
- ・将来の売上・粗利として経営の安定化に寄与

## 前受金の推移

(百万円)



## 複数年契約の対象

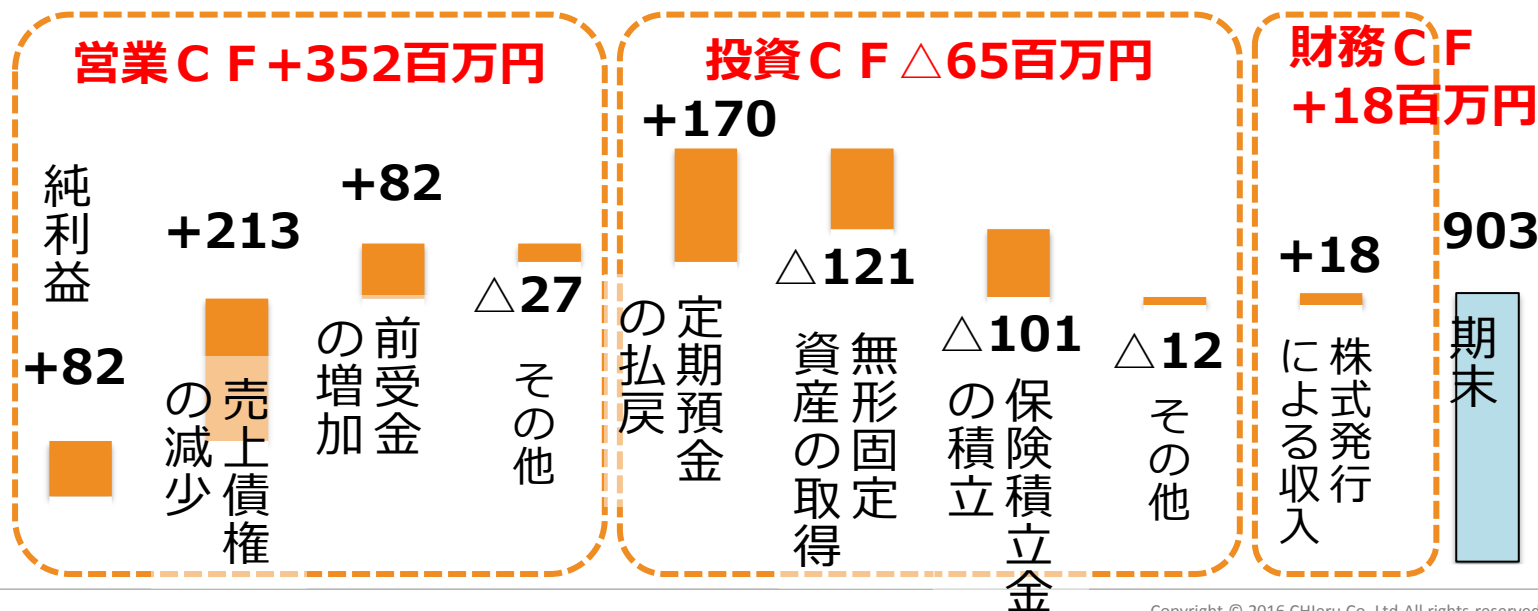
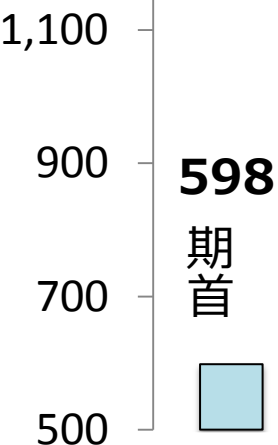
1 教材の複数年購入

2 保守契約

3 大学への常駐契約

(単位：百万円)	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期	増減
			額
営業活動によるCF	44	352	+307
投資活動によるCF	△172	△65	+107
財務活動によるCF	168	18	△150
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>39</b>	<b>305</b>	
現金及び現金同等物の期首残高	558	598	
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>598</b>	<b>903</b>	<b>+305</b>

(百万円)



Chapter **04**

成長に向けた

2017年3月期の取り組み

## 高校大学

- **環境整備**  
アクティブ・ラーニング教室・ラーニングコモンズなど
- **英語学習環境整備**  
目標  
高校生 英検準2級程度以上 50%  
高等英語教員 英検準1級以上 75%
- **高等学校基礎学力テストの実施**

## 小学校中学校

- 2020年代に**1人1台のタブレット**環境整備
- 2020年代に**デジタル教科書**導入
- **教育クラウド・無線LAN**整備  
(超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率100%)
- **教員のICT活用指導力の向上**

## 当社

区分	学校数	学級数	生徒・学生数	教員数	区分	学校数	学級数	児童・生徒	教員数
高等学校	4,939	62,588	3,319,114	234,970	小学校	20,601	272,255	6,543,104	417,152
大学	779	…	2,860,210	182,723	中学校	10,484	122,736	3,465,215	253,704



- ・強みを生かした**3つの戦略**に沿った取り組みにより成長
- ・**システム開発戦略**及び**教材開発戦略**は、国の施策に沿った開発を、**営業戦略**は、営業ネットワークの拡大・仕組み化を促進

## システム開発戦略



教授法を反映した  
製品開発

## 教材開発戦略



教材の品揃え拡充

## 営業戦略



営業エリア拡大・  
販売代理店との  
関係性強化による  
受注獲得

① <高校大学市場> アクティブ・ラーニング活性化対応

新たな概念“**MALL**”の打ち出し  
(**M**obile **A**ssisted **L**anguage **L**earning)

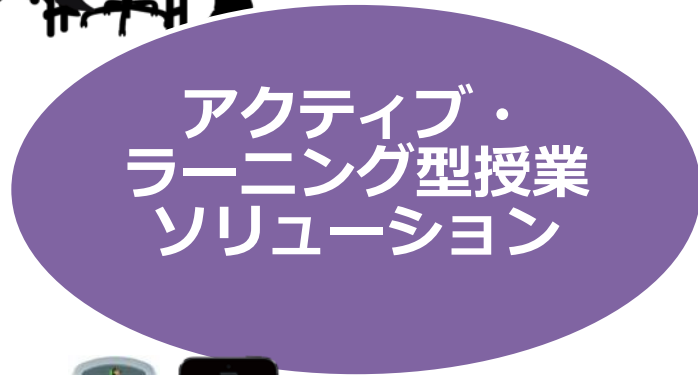
『CaLabo EX』



『CaLabo Language』

旺文社 英検 CAT

ABLish



『FLOW』

『S300-HD』

## ① <高校大学市場> アクティブ・ラーニング活性化対応

### <第2期教育振興基本計画>

- ・ **アクティブ・ラーニングの環境整備を通じた学修時間の増加**

- ・ 英語力の目標を明記  
(新聞記事の速読や時事問題での学習を推奨)

### <高大接続改革>

- ・ 英語の4技能重視  
(読む,書く,聞く,話す)
- ・ 英語民間試験の活用

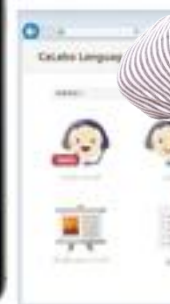
スマートフォンやタブレットを利用し、いつでもどこでも自主的な学習ができる  
**“MALL”対応製品を続々リリース**

### ■ 第1弾

新製品 語学学修プラットフォーム  
**『CaLabo Language』**

### <主な機能>

- ・ リスニング・スピーキング力の向上を支援
- ・ **スマートフォン対応**



## ① <高校大学市場> アクティブ・ラーニング活性化対応

### <第2期教育振興基本計画>

- ・ アクティブ・ラーニングの環境整備を通じた学修時間の増加
- ・ 英語力の目標を明記  
**(新聞記事の速読や時事問題での学習を推奨)**

### <高大接続改革>

- ・ 英語の4技能重視  
(読む,書く,聞く,話す)
- ・ 英語民間試験の活用

## ■ 第2弾

### 英語ニュース教材配信サービス 『**ABLish®**』をバージョンアップ

### < Ver2.0の主な新機能 >

- ・ **スマートフォン対応**、教材共有機能  
レポートの出力・ソート、再生速度調整機能

⇒ **新鮮なニュースを題材にした英語学習がいつでもどこでも可能に**



オープンスペース/自宅



通学中

## ① <高校大学市場> アクティブ・ラーニング活性化対応

### <第2期教育振興基本計画>

- ・アクティブ・ラーニングの環境整備を通じた学修時間の増加
- ・英語力の目標を明記（新聞記事の速読や時事問題での学習を推奨）

### <高大接続改革>

- ・**英語の4技能重視**（読む,書く,聞く,話す）
- ・**英語民間試験の活用**

### ■ 第3弾

延べユーザー数**300万人**の「CHleru.net」人気教材『**英検CAT**』をバージョンアップ

### < Ver2.0の主な新機能 >

- ・英語の**4技能対応**  
⇒新たに「リスニング」を追加
- ・**スマートフォン対応**



旺文社・英検CATは、英検5級から1級までのレベルに対応した教材です。「英語レベル診断」ツールにより、学習者の解答結果に合わせ、適切なレベルの問題を提示することで、英語力を的確に測定していきます。この他、「英検模試」「語彙クイズ」「文法トレーニング」といった全4ツールを搭載しています。

## ① <高校大学市場> アクティブ・ラーニング活性化対応

<第2期教育振興基本計画>

- ・アクティブ・ラーニングの環境整備を通じた学修時間の増加

## 授業支援プラットフォーム『CaLabo Bridge』をバージョンアップ

< Ver.3.0の主な機能強化 >

- ・シンプルな画面構成に一新
- ・学生PCのWebモニタリング機能追加



## ② <小学校中学校市場> タブレット端末活用活性化

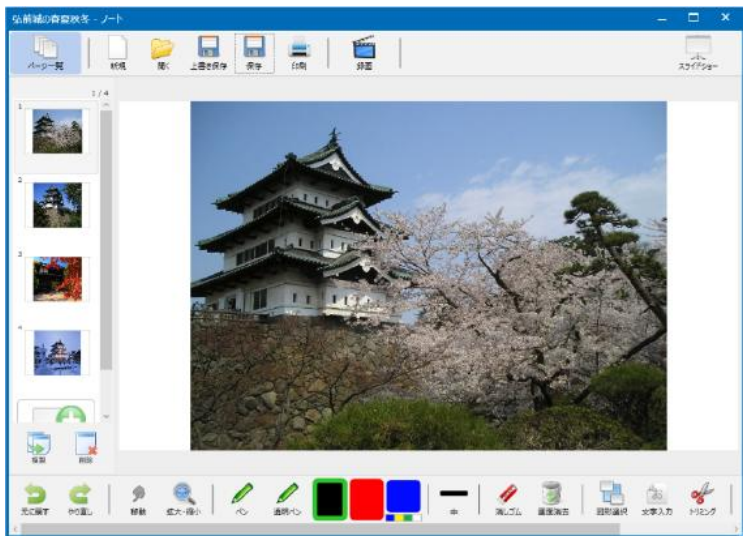
### <第2期教育振興基本計画>

- ・タブレットの整備
- ・思考力・判断力・表現力の育成
- ・デジタル教材の共有

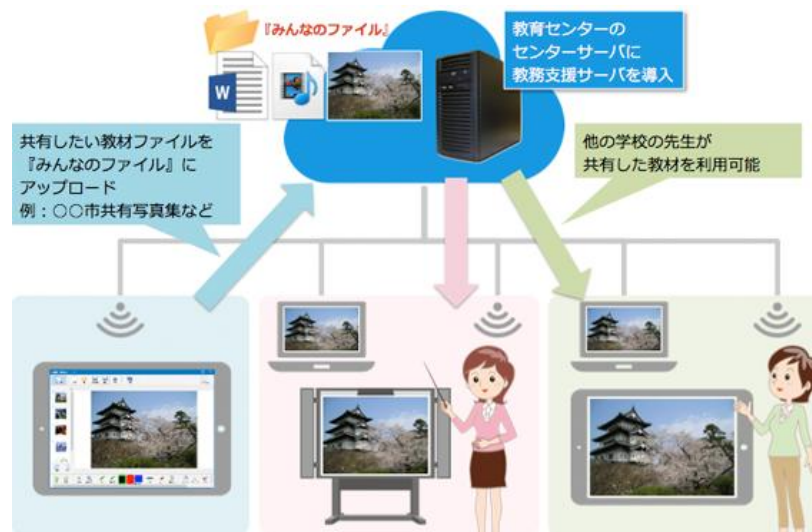
### 『らくらく先生スイート®』をバージョンアップ

#### < Ver.2.0の主な機能強化 >

- ・発表を活発にする「デジタルノート」を強化
- ・「デジタル教材管理・共有」機能を強化
- ・児童生徒の発表を自動で記録



デジタルノート機能強化



教材管理・共有機能強化

## ③ 無線LAN環境整備に伴う戦略商品

特許出願中

<総務省>

- ・クラウド、無線LAN環境整備の推進

<文部科学省>

- ・ネットワークの在り方の整理、推奨仕様標準化の推進

## 無線LAN環境最適化ソリューション 『Tbridge®』のブラッシュアップ

<主な特徴>

- ・輻輳制御、ロス・遅延制御、混雑制御を通じてTCP通信を最適化
- ・無線インフラの拡張やアップグレードが不要

⇒ **速くて安定的な無線LAN環境を構築**

# Tbridge





① <小学校中学校市場> タブレット対応教材開発

<文部科学省>

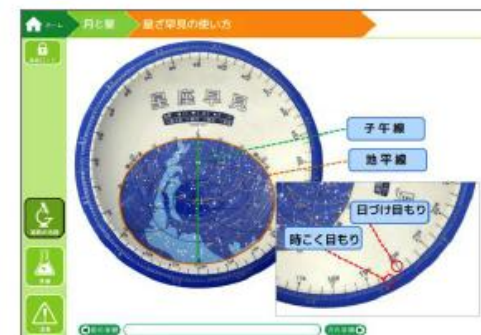
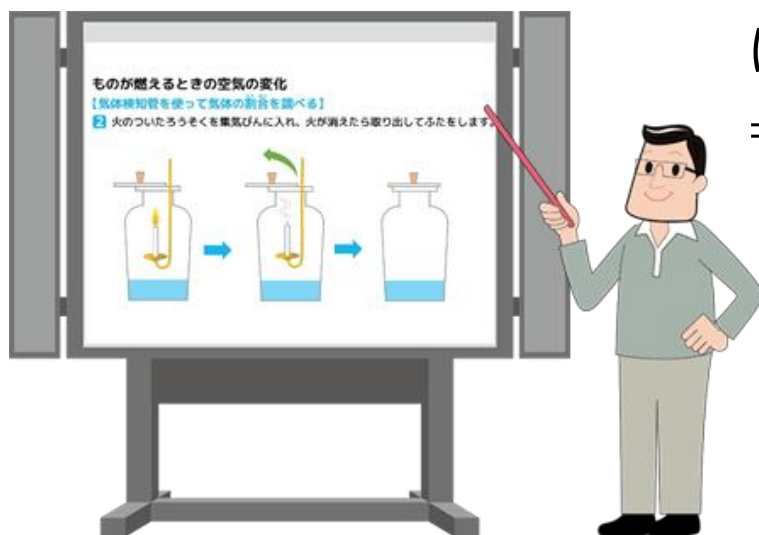
- ・ 「デジタル教科書」  
「デジタル教材」  
の導入
- ・ 教材の共有・利用

『小学校の見せて教える理科 観察・実験 3年生・4年生』を販売開始

<主な特徴>

- ・ 理科の一斉授業で活用
- ・ 実験器具の使い方、観察実験の指導、まとめに利用
- ・ 『らくらく教材ナビ』と連携し、教材のすばやい選択が容易

⇒ 授業準備の時間を短縮



② <小学校中学校市場> 教育クラウドサービス

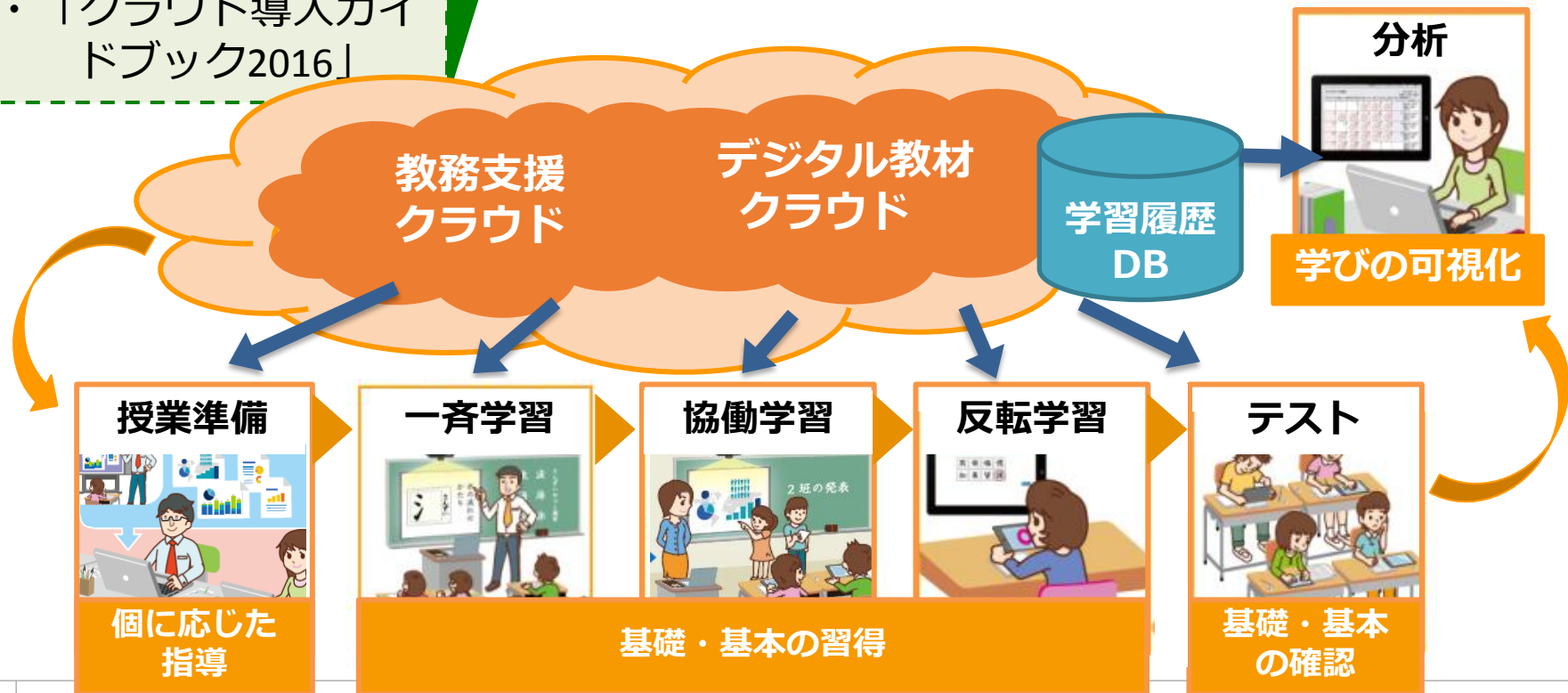
小中学校向け**教育クラウドサービス**  
 2017年4月リリース  
 ・基礎・基本の確実な習得・定着を目的として、  
**教務支援システムとデジタル教材をクラウド化**

<文部科学省>

- ・「デジタル教科書」  
「デジタル教材」  
の導入

<総務省>

- ・「クラウド導入ガイドブック2016」



② <小学校中学校市場> 教育クラウドサービス

第1弾『らくらく教材クラウド (仮称)』 2017年4月リリース

< 主な特徴 >

- ・ 基礎・基本の確実な習得・定着に役立つデジタル教材をクラウドで提供
- ・ 学習履歴・学習分析機能により、児童個々人に応じた指導が可能に
- ・ 「らくらく先生スイート」と連携

学校での授業

習得

家庭での学習

定着

検定・テスト

確認

学びの可視化

個に応じた指導

チエルクラウドポータル

らくらく教材クラウド

基礎・基本習得パック

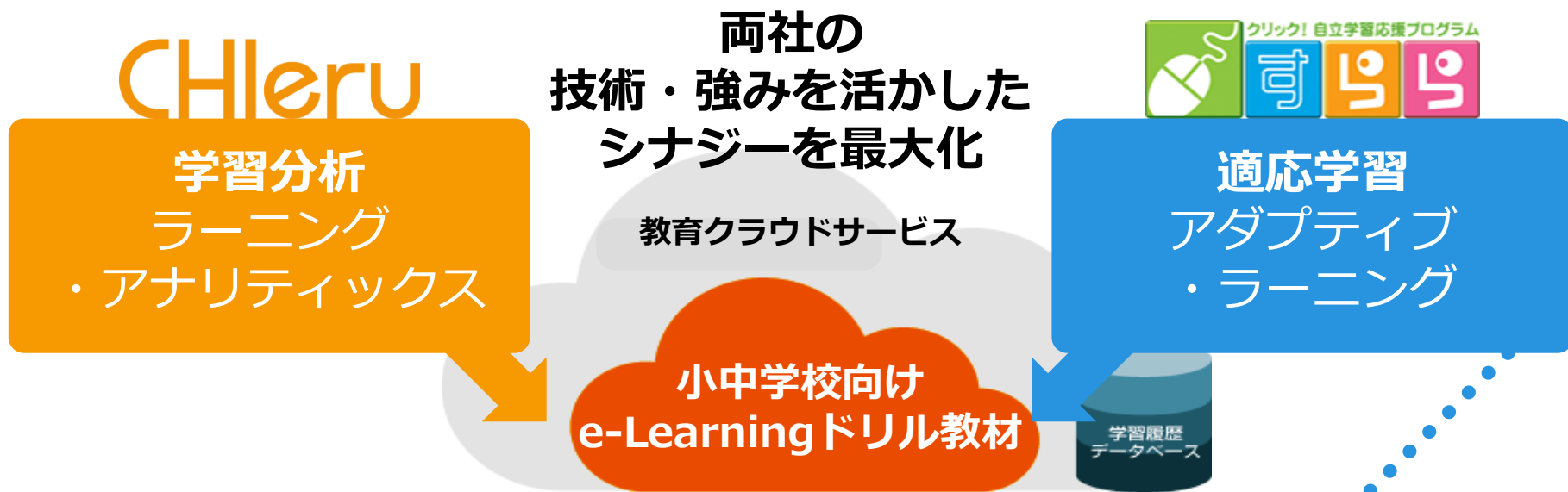
チエルクラウドポータル

基礎・基本徹底ドリル

児童・生徒の学習履歴管理

② <小学校中学校市場> 教育クラウドサービス

株式会社すららネットと小中学校向けe-Learningドリル教材を  
共同開発し、2017年4月リリース



株式会社すららネット

本社：東京都千代田区  
代表取締役社長

：湯野川 孝彦

同社は、人工知能とアダプティブ・ラーニングを活用したクラウド型学習教材『すらら』の開発・提供と、学校・塾向けのコンサルティングを行っています。2012年には「日本 e-Learning 大賞 文部科学大臣賞」を、2016年には「日本ベンチャー大賞 社会課題解決賞」を受賞しました。国内では100以上の学校と600以上の塾で導入され、現在ではスリランカやインドネシアなど、海外での活用が進みつつあります。

### ① 営業拠点の設置

- ・空白地域への営業拠点の整備を進め、営業ネットワーク拡大と業績向上を図る。
- ・四国にエリア専任担当を配置

### ② 沖縄営業所の子会社化

- ・地域に根差した体制を築くため、沖縄営業所を、会社分割により「沖縄チエル株式会社」を新設

### ③ 顧客データベース活用による営業活動の効率化

- ・顧客情報管理体制を強化し、営業拠点を側面から支援
- ・システムや教材で数年ごとのリプレイス・更新が見込まれる案件を明確化し、営業のアプローチを効率化



## ④ マーケティング

### 大規模展示会への出展による認知度向上

- ・ 国内最大級「第7回 教育ITソリューションEXPO (EDIX)」に出展
- ・ 西日本最大級「関西教育ICT展」に出展



## ⑤ 既存製品の市場への展開

### 株式会社インソースと提携し、既存製品の市場へ展開

#### ■ 第1弾 グローバル人材育成分野



クラウド型教材配信サービス『CHleru.net』を、インソースの子会社のミテモ株式会社を通じて、社会人・企業内教育研修向けに提供

#### ■ 第2弾 研修ツール関連分野

電子黒板を含むアクティブ・ラーニングソリューションを、インソースを通じて社会人・企業内教育研修向けに販売

#### 株式会社インソース

(東証マザーズ・  
証券コード：6200)  
本社：東京都千代田区  
代表取締役  
執行役員社長：舟橋孝之

「ビジネスパーソンが楽しく働ける社会の実現」を目指して、2013年1月に事業を開始。年間研修実施回数14,612回、年間研修受講者数359,147人（2015年10月～2016年9月）と国内最大級の研修実績を誇っています。「時代の変化に対応する」研修の開発だけではなく、システム販売やストレスチェック支援サービス等、「働くを楽しくする」様々なサービスを提供しています。

⑤ 既存製品の市場への展開

無線LAN最適化ソリューション『Tbridge®』を市場へ展開



国際産業技術株式会社

Tbridge



■ 国際産業技術株式会社と、無線LAN最適化ソリューション

『Tbridge®』のエンタープライズ向けの販売代理店契約を締結

エンタープライズ市場で販売パートナーを開拓し、製品認知を広げること  
で、販売網の強化と無線LAN最適化ソリューションのビジネス拡大を  
目指す。

国際産業技術株式会社

本社：東京都千代田区

代表取締役社長：立花 和昭

IAサーバを中心としたICT製品全般の販売を、直販・  
パートナービジネス・ECサイト・実店舗(大手町)と  
いったマルチチャネルで展開。物販に限らず、社内  
システム構築・第三者保守・レンタル・海外調達・  
ショールーム運営といったビジネスドメインを持  
つ。SMBからラージエンタープライズまでの幅広い  
顧客基盤が特徴。



Chapter **05**

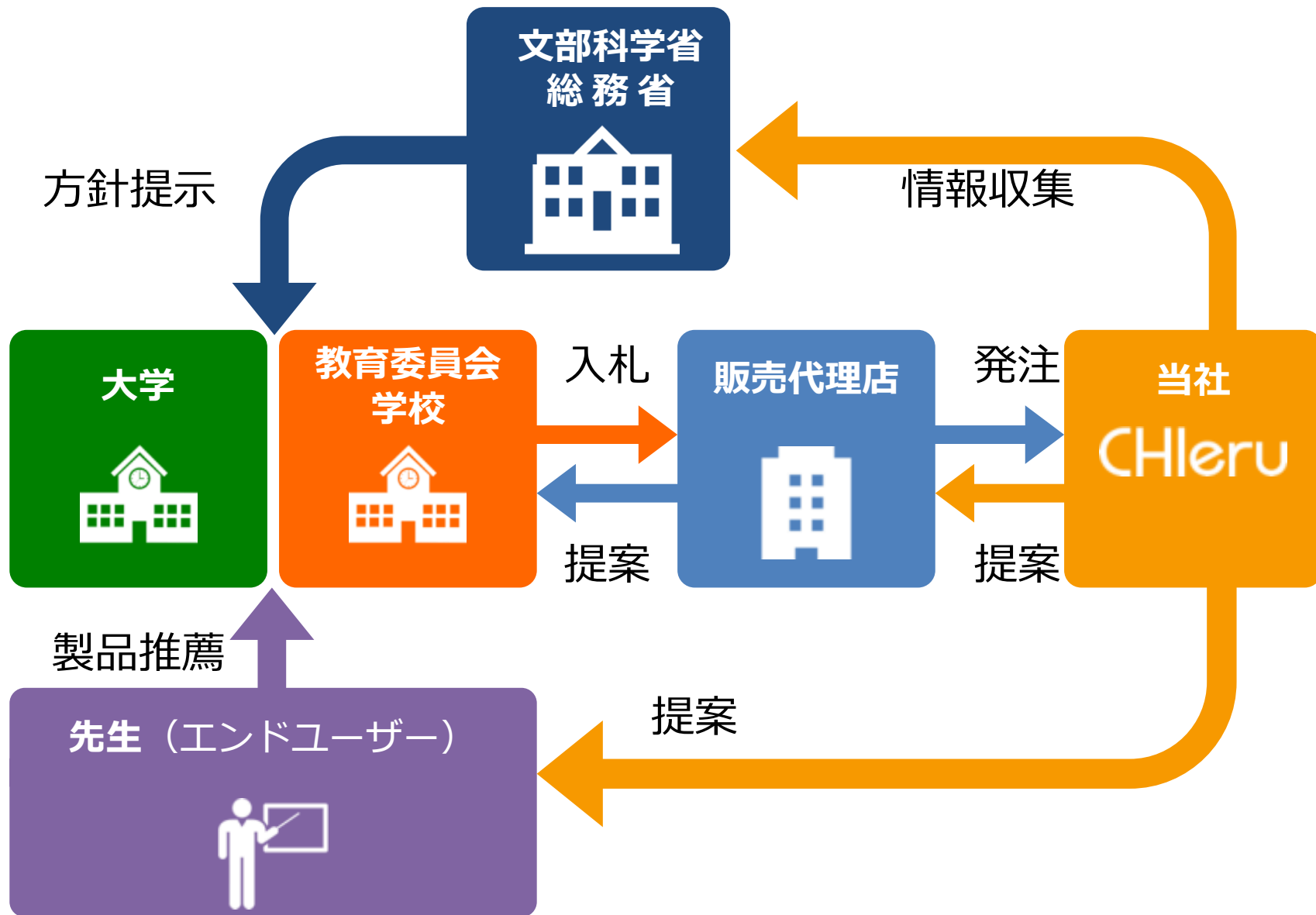
# 2017年3月期 業績予想

- ・ アクティブ・ラーニング対応の製品により売上を拡大
- ・ 売上原価、販売費及び一般管理費については、人員強化に伴う人件費の増加、販売目的ソフトウェアの減価償却費負担、および研究開発費の増加を主な要因として、前事業年度比57百万円のコスト増加

(単位：百万円)

	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (予想)	増減	
			額	率
売上高	1,727	<b>1,800</b>	+73	+4.2%
営業利益	185	<b>200</b>	+15	+7.7%
経常利益	185	<b>200</b>	+15	+7.6%
当期純利益	118	<b>138</b>	+20	+16.3%

# 參考資料



区分	学校数 (校)	学級数 (学級)	児童生徒 ・学生数 (人)	教員数 (人)
小学校	20,601	272,255	6,543,104	417,152
中学校	10,484	122,736	3,465,215	253,704
高等学校	4,939	62,588	3,319,114	234,970
大学	779	…	2,860,210	182,723
短期大学	346	…	132,681	8,266
高等専門学校	57	…	57,611	4,354
専修学校等	5,596	…	944,044	132,950

出所：文部科学省「学校基本調査」 平成27年度

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、様々な要因により実際の業績が本資料の記載と異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

# CHleru

## チエル株式会社

本資料ならびにIR関係の  
お問い合わせにつきましては、  
下記までお願いいたします。

TEL:03-6712-9721

FAX:03-6712-9461

<http://www.chieru.co.jp/>